

PET/CT検査に関する説明書

1. PET検査の安全性と被ばく線量について

当施設で使用するFDG (F¹⁸で標識されたグルコース製剤) は日本核医学会、日本アイソトープ協会その他関連三団体が定めるガイドラインに準拠し、日本メジフィジックス社に精製し、数種の品質試験に合格した製剤を使用しています。この製剤によるアレルギーなどの副作用の報告はほとんどありません。PET/CT検査の被ばく線量は、全部合わせて10mSv~15mSvになりますが、この被ばく線量による放射線障害は報告されていません。

2. PET検査の有用性と限界

PET検査は、癌健診、腫瘍の良悪性の区別、癌の進行度、再発、治療効果判定などに有用であることが知られており、検査自体は一度にほぼ全身を対象にできます。ただし、PET検査は万能ではありません。生理的集積(脳・心臓・尿路系(腎臓や膀胱など)・消化管(胃や大腸など)等により、これらの臓器もしくは近傍の異常は、PETだけでは診断困難になる場合があります。また、小さい癌やFDGが集まりにくい癌(肝細胞癌、ある種の癌)では、悪性病変があっても、PET上診断できないことがあります。また、良性病変、炎症性、ある種の生理的変化にもFDGが集積することがあり、そのため、悪性病変がなくても、悪性病変の疑いと診断される可能性があります。また、糖尿病や検査当日の血糖値が200mg/dlを超える場合、不鮮明な画像となります。PET検査は癌診断の精度を高めてはおりますが、癌がまったくないという保証を与えるものではありません。

3. プライバシー保護

当施設職員は守秘義務を厳守いたします。なお、別紙で同意を得た場合に限りPET検査の結果を医学会、学術雑誌に発表することがございますが、その際、氏名などのプライバシーは一切公表いたしません。

4. PET検査の精度向上のため

PET検査の精度向上させるため、精密検査を受診された医療機関に検査結果をお問い合わせる場合があります。また、受診された方に郵送、もしくは電話で問い合わせる場合があります。

5. 検査の注意事項について

- ①運動によって筋肉にFDGが集まる場合があります。筋肉が使われるようなトレーニングや激しい運動は、検査前日よりお控え下さい。
- ②検査時間5時間前から絶食して下さい。(サルコイドーシス診断の場合は12時間前)
- ③絶食後お水は飲んで構いませんが、お水以外の飲み物(ジュース、お茶、コーヒー、スポーツドリンクなど)は飲まないで下さい。
- ④下記のお薬については、服用を制限させていただきます。
 - ・下剤、緩下剤は検査前日より服用しないで下さい。
 - ・血糖降下剤薬、インスリン注射は、食事が制限されるため検査当日は使用しないでください。
 - ・降圧薬服用の方は、検査当日必ず服用して来院して下さい。
- ⑤化学療法中もしくは化学療法終了後2週間以内の場合は不鮮明になることがあります。
- ⑥予約時間までに茅ヶ崎中央病院(本館)総合受付までお越しください。
- ⑦予約時間に遅れた場合、当日の検査ができなくなる場合がございますので予めご了承下さい。
- ⑧時計やネックレス、指輪等の貴金属類及び貴重品は外して頂きます。
- ⑨CVポートを使用しての検査は対応しておりませんので予めご了承下さい。



医療法人社団 康心会
茅ヶ崎中央病院

CHIGASAKI CHUO HOSPITAL

〒253-0041

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎2-2-3

お問い合わせ先：地域連携室

TEL：0467-86-6530 (代表)

FAX：0467-87-5119

営業時間：8：30～17：00

